

地域でたくましく生き抜くことのできる心豊かな子どもの育成
～一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす学校 インクルーシブな社会をリードする学校～



Rainbow

令和3年7月 須坂市立須坂支援学校 学校だより No47

「自分から 自分で 精いっぱい」取り組んできた 69日間の一学期が無事、終了しました ～学校へのご支援、ご協力 ありがとうございます～



「夢中になって取り組んだよ。楽しかったよ！」

○一学期の生活単元学習から



←小学部そら・ほし組（低学年）

「すなみずらんどへ ようこそ」

前庭・中庭が「すなみずらんど」に。砂や水を使って山や川を作ったり、友だちや先生と一緒にレストランを開いたり、自分で遊びを創り出し、想像力豊かに遊び込みました。

小学部にじ組（高学年）→

「カラフルレインボー」

絵の具を塗った手のひらでタオルをカラフルにしたり、色水を作ったりとカラフルな世界を楽しみました。活動に使う水がいっぱい入った重いおけをみんなで協力して運ぶこともありました。カラフルレインボーで使ったペットボトルは「手作りいかだ」にして、プールでも楽しみました。



←中学部「みんなのひろばで楽しもう」

旗の飾りをつける、花のプランターを置く、小屋に手作りブロックを敷くなどの作業に分担して取り組み、みんなで力を合わせて中庭を居心地のよい、すてきな「みんなのひろば」にしました。



各教科等を合わせて学習する生活単元学習では、思う存分遊び込んだり、自分の活動に没頭して取り組んだりする中で、自己選択・自己決定する力や自己表現する力、意欲的に物事に取り組む力などが育っていきます。夢中になって取り組む経験を積み重ねながら、自立や社会参加に必要な事柄を総合的・实际的に学んでいる子どもたちです。



「一緒に遊んだよ。なかよしになったよ！」

○須坂小学校とのプレイルーム交流から



二時間目の休み時間「なかよしタイム」を使って、小学部と須坂小学校のお友だちと一緒にプレイルームで遊ぶ「プレイルーム交流」。同年代のお友だちと一緒に同じ遊具で遊ぶ楽しさを味わいながら、遊具を譲ったり、順番を待ったりする経験をし、お互いのことを少しずつ知り合

うことができ、双方の子どもたちにとって楽しく貴重な学びの場となりました。



「読み聞かせ楽しいよ」「土笛の会の皆さんの演奏、すごい」

○どんぐりころころ（読み聞かせ）、土笛の会の皆さんとの交流



どんぐりころころの皆さんには小・中学部で大型絵本の読み聞かせをしていただいています。土笛の会の皆さんには、中学部の音楽の時間にミニコンサートをしていただいたり、一緒に音楽の授業に参加

していただいています。子どもたちが地域の方から学ぶ楽しい時間です。また、どんぐりころころや土笛の会の皆さんからも、「私たちにとってもお子さんたちと触れ合い、楽しんでもらえることは、とっとうれしいことです。やりがいがあります」とお話しいただいています。ありがたいことです。地域の方とのつながりも大事にしていきたいと思

～くぬぎの森学園（須坂小・支援学校コミュニティスクール）運営委員会より～

第2回運営委員会（6/11）では、運営委員（中央公民館長さんはじめ地域の諸施設の代表者の方や長野養護学校長、PTA正副会長さんなど13名）の皆様にご意見をいただきました。地域の皆様の温かい応援を力にしていきたいと思

○授業参観の主な感想から

- ・子どもたちが生き生きと学習していてうれしかった。中庭の広場もちょうどよい大きさで先生方の目が行き届いていた。
- ・支援学校の中庭の活動を見たが、子どもたちの笑顔がすばらしかった。自分も自然と笑顔になった。学校が楽しいと思えることが大事だと感じた。
- ・中庭の支援学校の活動では、砂や水などに触れ合い活動を楽しんでいた。大人もわくわくする広場になっている。小学校の子も支援学校の子も関係なく一緒に遊べるのはうれしい。そういう環境で過ごせるのはありがたいと思う。
- ・中庭を見て感動した。この時期に合った内容。子どもたちは、個別によく遊び込んでいた。先生方とかかわり、やり取りしたり、友だちと手をつないだりするなど集団化する場もあった。これは先生方の個々に応じた適切な支援があるからこそ。中学部の校内実習でも作業工程がきちんと示され、できる状況づくりがよくなされていた。
- ・ずっとかかわってきたお子さんが中学部にいるが、作業に取り組んでいる姿を見て、こんなにできるようになったのだと感激した。成長を感じた。須坂小と須坂支援学校は、インクルーシブな教育を先進的にやっていただいている。どんどん発信してほしい。横のつながりはあると思うが、今後は、中学校や高等学校が近くにある立地のよさも生かしてライフステージに沿った縦のつながりも大事にしていきたい。
- ・SDG'sは17番目の「パートナーシップ」に尽きると思う。一緒に協力してやるのがますます大事になる。本校の子どもたちは多様性が生活の中にある。この子たちの10年後、20年後がどんなになるか楽しみ。せっかくの環境を大事にしたい。ダイバーシティ（多様性）に生きる子どもたちを支えていきたい。

※ 令和3年度の一学期も無事に終了することができました。保護者の皆様、地域の皆様のお支えに感謝申し上げます。7月22日から8月18日までの夏休みの期間中、事故や怪我、感染症等に罹患した場合など学校へご連絡ください（職員の勤務時間以外は須坂市役所に転送されます）。暑い毎日が続きますが、健康に留意し、よい夏休みをお過ごしください。（文責：教頭）